

令和5年度豊岡市商工会経営発達支援計画評価委員会

経営発達支援計画評価委員会 開催状況

豊岡市商工会では令和5年度の経営発達支援計画評価委員会を開催し、実施した事業実績について評価をいただきました。評価委員会からの意見は次のとおりです。

開催日 令和6年4月23日(火) 11:00~12:00
 開催場所 豊岡市商工会館
 出席者 外部委員(中小企業診断士)1名、(行政)3名
 委員 2名

【評価委員会の意見】

| | |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 経済動向に関すること | 事前に計画された回数、内容を満たしており、十分に取組みましたと評価できる。RESAS活用は、実際には難しさも感じられる。 |
| 経営分析に関すること | 数量的には申し分ないが、単に数を追っている訳でなく、質の高い分析が行われていると察する。事業者支援の基礎ともなる作業であり、今後もこのペースで取り組んで頂きたい。 |
| 事業計画策定に関すること | 委員会の中で、事務局から報告があったように、セミナーの集客が、今後の主要課題と感じる。事業の将来を考える経営革新塾や売上、利益の向上に寄与する販路開拓塾への参加は、人によっては大きな転機になることも多いため、今後は、抜本的な対策のもと、参加者が増えることを期待する。 |
| 実施支援に関すること | 評価は低くなっているが、少人数の中、よく奮闘されていると感じる。担当者の経験年数によって、スキルに高低がみられる中、特定の担当者に偏ることなく、チームで対応されている。担当者間のコミュニケーションのよさが、よい結果につながっている原因と目される。ノウハウの蓄積もかなり進んでいることから、異動によってメンバーがかわる難しさもあるが、ぜひ、乗り越えて共有していただきたい。 |
| 需要動向に関すること | 事務局からも報告があったが、見直しが必要であり、第3期経営発達支援計画において方法を改める必要がある。調査方法と活用方法に問題を感じる。容易に調査できて、効果的に活用できるような方法を目指していただきたい。 |
| 需要開拓に関すること | 事業者の需要開拓に役立つだけでなく、支援担当者の支援能力の向上に役立っている。事業者と対等に話ができる知識は研修では得られない。回を重ねることでより多く経験を積むことにも繋がるため、次年度以降も継続して実施すべきであるが、実際に成約するためには、ポイントがあるため、販路開拓塾によって、改めて学んでいただきたい。 |
| 地域経済活性化に関すること | 緊密に連携されており、望ましい。特にコロナ禍の収束による環境変化、空前の人手不足、ロシア問題による原油高、物価高への対応策を地域経済機関にて共有いただきたい。まちゼミについては、長く継続することによってマンネリ感に繋がることもあるが、続けるからこそ認知度が高まって、新たな消費者や参加店舗が増える可能性もあるため、改善しつつ継続していただきたい。 |
| 支援力向上に関すること | あらかじめ想定された内容、回数を着実にこなされている。B評価にされているが、支援担当者育成は、他地域よりも進んでおり、高いレベルにある。今後期待すべきは、データベースの活用であり、支援先の数を増やすこと、各段階における位置レベルを引き上げることが課題と目される。いまは疎遠ではないが、密ともいえない先とどのようにして深く関わっていくか、などを考えることを例にする。こうした経験が支援先へのアドバイスに役立つと考える。 |

令和5年度 豊岡市商工会経営発達支援計画実施評価表

| No | 支援内容 | 5年度目標 | 実績 | 目的 | 手段、活用方法、項目 | 評価 |
|----------------------------------------------------------------|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| I. 経営発達支援事業主要取組み(経済動向、経営分析、事業計画策定、実施支援、需要開拓、需要動向)に関すること | | | | | | |
| 1 | 経済動向調査資料の作成・提供 | 関係機関へ公表 4回 会議提示 4回 RESAS活用 1回 | 関係機関への公表 4回 会議提示 4回 RESAS活用 0回 | 経営分析で有効活用、計画策定に活用する | 情報収集リスト作成、分析、整理、HPや会報に掲載 ・商工会景況調査 ・全国連景気動向調査 (経営状況、業界動向、景況感、資金繰り、経営課題等) | B |
| 2 | 経営状況分析 | 経営分析セミナー 2回 | 経営分析セミナー 2回 | 経営状況を分析、アドバイスをを行い課題解決に繋げる | SWOT分析、3C分析、収益性分析、安全性分析、損益分岐点分析を活用 事業者選定、実態把握、記録と保管、情報の共有化 有益な助言、事業計画策定に役立てる (商品、サービス、技術、ノウハウ、労働力、財務内容等) | A |
| 3 | | 経営分析 70者 | 経営分析 107者 | | | |
| 4 | 事業計画策定支援 | 事業計画策定研修会・経営革新塾 2回 | 「経営革新塾」「販路開拓塾」セミナー2回 | 事業プランの見える化、適正な目標設定を行い、経営課題の解決、販路開拓に繋げる | 経営分析を行った小規模事業者を重点的に計画策定へ誘導 セミナー、職員による相談対応、案件によっては専門家派遣を実施 | A |
| 5 | | 事業計画 60者 | 事業計画92者 | | | B |
| 6 | | 創業塾 1回 | 創業塾 1回 | | | B |
| 7 | | 創業計画 10件 | 創業計画 9件 | | | B |
| 8 | | 事業継続力強化計画策定講座 1回 | 事業継続力強化計画策定講座 1回 | | | B |
| 9 | 事業継続力強化計画 8者 | 事業継続力強化計画 9者 | | | | |
| 10 | 実施支援 (フォローアップ) | 事業フォローアップ 60社×4回 売上増加事業者数 30者 売上総利益5%増加 30者 | 事業フォローアップ 92社×4回 売上増加事業者数 20者 売上総利益5%増加 15者 | 計画した事業に取り組めるよう、計画的な支援計画を立て、伴走型支援を実施する | 計画が着実に実施されているか、進捗状況や達成状況を巡回、窓口相談で定期的に把握する 財務諸表の確認 目標と誤差がある場合、追加支援を検討 伴走支援によって先進的な取り組みを実施した事業者による事例発表 事業所のPR、事業所同士のマッチングの場の提供 | B |
| 11 | | 創業フォローアップ 10者×4回 売上目標達成 5者 | 創業フォローアップ 9者×4回 売上目標達成 2者 | | | B |
| 12 | | 成長企業期待フォーラム | 成長企業期待フォーラム 1回 | | | |
| 13 | 需要動向調査 | 観光産業分野調査 6者 工業系展示会調査 3者 食品系展示会調査 4者 | 観光産業分野調査 0者 工業系展示会調査 0者 食品系展示会調査 11者 | 需要を見据えた事業計画を策定、事業活動に繋げる | 観光産業を営む事業所での観光客の需要調査 ※R3年度は観光地での観光需要調査を実施 展示会での来場バイヤーへの需要調査 商談成約率の向上、商品改良、開発等への活用 | B |
| 14 | 需要開拓に 寄与する事業 | 工業系展示会出展サポート 6者 成約件数 3件 | 展示会出展サポート 4者 成約件数 3件 | 新規取引先を開拓し、経営の持続的発展に繋げる | 展示会、商談会への出展サポート プレスリリースを作成し、情報発信力を高める | A |
| 15 | | 食品系展示会出展サポート 8者 成約件数 4件 | 食品系出展サポート 11者 成約件数 4件 | | | B |
| 16 | | 情報発信支援事業 6者 情報発信による取引増加 3件 | 情報発信支援事業 12者 情報発信による取引増加 2件 | | | |
| II. 地域経済活性化に関すること | | | | | | |
| 17 | 地域経済の活性化 | 豊岡市経済連絡会議 年4回 | 豊岡市経済連絡会議 年4回 | 地域景況の情報交換、各機関の支援取り組みの方向性の共有 | 県民局、豊岡市、市内金融機関、公庫、会議所との会議 各機関調査結果の報告、情報交換 | A |
| 18 | | 豊岡市経済部局との調整会議 年2回 | 豊岡市調整会議 (随時) | 市経済施策に関する調整 | 豊岡市環境経済課との打合せ、情報交換 | |
| 19 | | まちゼミ開催 | まちゼミ 1回 | まちゼミにより、個店繁盛、経営力アップを図る | 専門知識を無料で講義、実技体験を提供する事業 日高のみでなく、出石でも開催 | B |
| 20 | | まちバル開催 | まちバル 1回 | まちバルにより、飲食店の集客支援を促す | 事前購入チケットを使用し、様々な飲食店を楽しむイベント 日高のみでなく、出石でも開催 | |
| III. 支援力向上に関すること | | | | | | |
| 21 | 他支援機関との連携・情報交換 | 公庫(金融担当者会議) 年1回 金融機関 年2回 経営発達支援事業情報交換会 年1回 県連経営支援事例発表会 年1回 但職協情報交換会 年2回 | 公庫(金融担当者会議) 年1回 金融機関 年2回 経営発達支援事業情報交換会 不開催 県連経営支援事例発表会 年1回 但職協情報交換会 年2回 | 最新情報や支援ノウハウを習得する | 各支援機関とよりよい関係を築くため、専門テーマに即した研修を実施、新たな需要開拓を進める基盤を構築する | A |
| 22 | 経営指導員等の資質向上 | 支援担当者会議 月1回 OJT若手育成 随時 個社支援手順のルール化 随時 外部研修への参加 年4回 支援先データベース化 | 支援担当者会議 月1回 OJT若手育成 随時 個社支援手順のルール化 随時 外部研修への参加 年4回 支援先データベース化 | 日々の経営支援に役立て、資質向上を図る | 研修等により個々の資質に応じた知識や情報を学び取り、経営支援に役立てる | B |
| 23 | 事業評価の見直し | 経営発達評価委員会 | 経営発達評価委員会 年1回 | 事業の妥当性、公平性、適当性を確保する | 委員を選定し(任期3年)、公平公正な事業評価を目指す | |

評価指標

- A: 目標を達成することができた。(100%以上)
- B: 目標を概ね達成することができた。(80%~99%)
- C: 目標を半分程度しか達成することができなかった。(30%~79%)
- D: 目標をほとんど達成することができなかった。(30%未満)